

「全ての市民が平等に扱われる時、 国は繁栄する」

G7 サミットは、次世代がより平等で持続可能な世界を受け継ぐことを保障する機会を提供する

ジャスティン・トルドー

私は日本の志摩で行われる今年の G7 に出席でき、嬉しく思います。

昨秋、我々の政府は国民に、世界におけるカナダの立場を強化することを約束致しました。我々はグローバル・エンゲージメントへの新しい取り組みを行うという公約を掲げました。一つは前向きな口調、そして事あるごとにカナダの利益と価値を強調することです。

G7 サミットは私たちに、最も親しい国際的パートナー達と膝を交えて話し合い、私たちの直面している挑戦—中産階級における雇用創出、気候変動への措置、私達の子や孫が、今日私達の知る世界よりも更に繁栄した持続可能な世界を受け継ぐことを保障すること—について真の議論を行う機会を与えてくれます。

・国民第一

伊勢志摩において、我々はどのようにして包括的かつ持続可能な方法で、我々の経済を成長させるか、という私の最優先事項の一つに焦点を当てます。我々は、全ての市民が平等に扱われ、潜在的な能力を十分に発揮するための機会を持った時が、国の最高の状態であることを知っています。

世界中の国が政府は投資を行う事が必要であると合意しています—短期的な景気浮揚だけでなく、長期での経済活性化もです。ここカナダでは、我々は 2016 年の予算を国民第一に使用し、今後 10 年間でなく今中産階級が必要としている援助を行います。

我々は中産階級のカナダ人—そして中産階級に加わるために熱心に働いている人々—が貯金を持ち、投資を行い、経済が成長した時、誰もが利益を得られると知っているため、そうしてきました。

私は、日本が上質なインフラ計画への投資の重要性を強調することにカナダと共に加わるのを見て、励まされてもいます。十分に練られたインフラは国民が時間通りに仕事に取り掛かったり、自分達の製品を全国に送ったり、子供をサッカーの練習に連れて行ったりしやすくします。そういう訳で、2016 年の予算では、我々の政府はカナダのニーズと将来の我々の経済により良く応えるであろう、インフラへの歴史的に重要な投資を作り上げました。

我々がサミットのテーブルを囲んでいる間、私は個人的に自身の G7 パートナーに、気候変動との戦い、持続可能な成長の促進、そして低炭素経済への移行の開始への尽力を優先させることを促すでしょう。G7 は気候変動の努力において世界の先頭に立つ責任があります。

我々はもっとできますし、やっけていでしょう。我々は今世紀の終わりまでには、エンジンから炭素を取り除くことを約束してきましたが、それよりもより早期にクリーンな経済成長を築かなければなりません。私は再三再四、環境と経済は相伴うと申し上げてきました。単に私がそう思うからというだけではなく、科学は実際それを必要としているのです。

今年のサミットは、世界中から集まった指導者が気候変動においてパリ協定に調印して以来、初めてのものとなります。G7 メンバーとして、気候変動との戦いにおいて、ステップアップしてこの責務を先導することは我々の義務です。行く手にはたくさんの困難な任務があります。我々は力によって合意をもたらす必要があるだけでなく、発展途上国が自身の義務を果たす手助けをする必要もあります。これは例えば、我々が G7 や他のパートナーと共に、2020 年までに年間 1 千億ドルに引き上げて援助し、世界的な気候変動への金融援助の取り組みを続けること等を意味します。これはまた、カナダがさらなる持続可能な世界を築く為に、26 億 5 千万カナダドル(21 億ドル)の投資の約束を継続することも意味します。—アフリカにおける再生可能エネルギー計画発展のための援助、気候リスク保険、あるいは低炭素経済への移行のための明確な手段を講じる事等です。

日本にいる間、私は G7 のカウンターパートと共に平和と安全保障上の問題を強調する回数を増やすつもりでもいます。我々が G7 のパートナーと団結して取り組めば、我々の声を国際的に高める事ができると知っています。—ロシアのウクライナ侵攻への非難、北朝鮮の核への野心への応酬にしてもです。

全ての G7 メンバーは、対イラク・レバントのイスラム国(ISIL)連合国においてパートナーに責任ある立場です。カナダの役割としては、我々は近年 3 年余り、安全保障・発展・人道支援、外交支援を一緒に果たすことによって、対立の根本的な原因への対処になるであろう新しい取り組みのために、16 億カナダドル(13 億ドル)を投資してきました。

・力の源泉としての多様性

G7 の結末はシリアとイラクからの難民の出国もまた拡大しなければなりません。今や世界中に自宅から逃れることを余儀なくされた人々が 6000 万人以上もいます。このグローバル危機に応え、我々の政府は暴力から逃れ安全な避難所を探す何千もの難民に、カナダの門戸を開きました。私はそれを最も必要としている人々に保護を申し出るという経験から学んだ教訓を共有する用意ができています。ダイバーシティは弱さではなく力の源泉になり得ますし、そうならねばなりません。

社会的包容力は伊勢志摩における対話において、重要な役割をも果たすでしょう。日本は女性に、自身の可能性を最大に実現する権限を与える為の重要な措置を講じています。

カナダは、自然科学・科学技術・工学・数学の分野で需要の高い職種への女性の参入支援において、日本のパートナーに加わります。

私は、我々は全ての市民が対等な地位で社会参加できる、人権に基づくアプローチを促進しなければならないと信じています。男女共同参画は、G7のイニシアチブごとの重要なテーマのはずです。我々はこの100年余り、男女共同参画において大きな進歩を遂げてきたといってもいいでしょう、しかし我々の行く手には未だ多くの任務があります。

今回のサミットは私にとって初めてのG7サミットで、このG7の協議事項がすべてのカナダ人にとって重要であることは明白です。私は伊勢志摩で自身のカウンターパートと話し合いをして、彼らのアイデアと関心に耳を傾け、彼らとの関係を築き続けたいと思っています。私はまた、サミットに寄与する商業・労働者・若いリーダーからより多くのことを聞くのも楽しみにしています。—我々はこれらのふれあいを通して、我々が役立つ為選ばれた国民の要求を満たすために、政策を改良できるのです。

非公式訳：宇野和子／G7 リサーチグループ